

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29家庭	(回答者数) 27家庭
○従業者評価実施期間	2025年11月4日		～ 2025年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会経験を積む機会をできるだけもてるようにしている。	公共施設へのおでかけ、店舗へのお買い物、おやつクッキング、洗車活動、スタッフのお手伝いなど。これらの活動を通じて実際の生活の中で役立つ経験を繰り返し習得し、自信を持って行えるよう支援しています。	個々の利用者さんのニーズをしっかりと把握し、必要な社会経験や課題等を提示できるよう、ご家族との連携を深めたい。発達課題についての研修も開催しております。
2	季節を感じる行事を大切にしている。	毎月のプログラムの中に伝統的な行事やイベントを組み込んでいる。ドライブや散歩の時には季節の花や景色を楽しめるようにお出かけ先を選んでいる。季節に合わせた制作活動を行っている。季節の移ろいや行事を大事にすることで日常生活の質を高める努力をしています。	グループに分かれて活動することにより、様々な活動をそれぞれの特性に合わせて落ち着いて楽しめる様配慮していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門機関での教育を受けた職員がいない。	地域の児童発達支援センターとの連携が図れておらず、スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けていない。	子ども発達支援センター「という」様と連携し、スーパーバイズや助言を受ける機会を設けようとしています。現在、具体的な日程調整を行っています。
2	他の児童クラブ等の子供たちと関わる場を提供できていない。	他の児童クラブや地域の子供たちとの交流の場を持っていない。現在同年代の子供と交流を図ることを希望される保護者の方も少ない。	近隣住民の方宅にハロウィンでお菓子をもらいに行ったりして交流の機会を持っています。また事業所のイベントに兄弟や家族で参加してもらい機会も設けたりしています。同年代の子供との関わりはできていませんが、まずは信頼できる大人との関係づくりを意識しています。
3			